

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 411-01-01

事務事業名		幼稚園施設改修事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		こども課		連絡先		内線1230	
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	子育て支援		款	10	教育費
	施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援		項	4	幼稚園費
					目	1	幼稚園費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市立幼稚園12園					
	目的 (どうしたいか)	耐震改修及び施設修繕を行い、安全な保育環境を確保する。					
	手段 (事業内容)	市立幼稚園12園の14棟のうち、耐震基準を満たしていない3棟の改修及び老朽化している園舎の修繕を行う。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 幼稚園維持補修:原材料費3千円、修繕費1,750千円  【特定財源】 0円	
当初予算額	事業費	24,798	2,226	2,695		
決算額	事業費	3,039	1,753	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	市立幼稚園12園修繕相談箇所数	単位	箇所	
指標の説明	各園修繕が必要な箇所について相談があった。			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	50	50	50	
実績	50	45	-	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	市立幼稚園12園修繕対応箇所数	単位	箇所	
指標の説明	予算の範囲内で、安全上直ちに必要な箇所を修繕した。			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	50	50	50	
実績	47	42	-	

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
幼稚園の老朽化に伴い、特に耐震基準を満たしていない園舎の耐震改修については喫緊の課題となっている。施設修繕についても、安全上直ちに对应しなければならない箇所にとどまっていることから、今後の幼稚園の在り方について、方向性の検討を急ぐ必要がある。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 411-01-02

事務事業名		幼稚園運営事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		こども課		連絡先		内線1230	
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	子育て支援		款	10	教育費
	施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援		項	4	幼稚園費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	利用を希望する幼稚園児や保護者					
	目的 (どうしたいか)	安全で快適な幼稚園生活を提供し、楽しいことがいっぱい幼児期を過ごすことができる環境づくりを推進する。					
	手段 (事業内容)	カリキュラムに応じて幼稚園備品や消耗品の購入の他、施設営繕及び各種施設の保守点検や施設維持管理を継続して実施する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	<b>【事業費】</b> 幼稚園費 323,797千円 (幼稚園維持補修費1,753千円【411-1-1】、給付費負担金・補助金250,103千円、新型コロナウイルス感染症対策の補助金及び備品消耗品購入費12,500を除く) <b>【特定財源】</b> 学校施設環境改善交付金7,038千円(空調)	
当初予算額	事業費	33,895	30,145	32,222		
決算額	事業費	28,453	59,441	-		
	特定財源等	1,056	7,038	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	市立幼稚園数	単位	園	
指標の説明	市内幼稚園を適正に管理する			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	12	12	12	
実績	12	12	-	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	市立幼稚園数	単位	園	
指標の説明	適正に管理できた園の数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	12	12	12	
実績	12	12	-	

≪事業の参考数値等≫  
 R3当初予算事業費  
 幼稚園費 323,710千円  
 (幼稚園維持補修費2,695千円、給付費負担金・補助金282,793千円、新型コロナウイルス感染症対策の補助金及び備品消耗品購入費6,000千円、除く)

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 幼稚園の利用希望者が減少傾向にあり、児童数の少ない園をどのように運用していくかが課題となっている。 施設の老朽化と合わせて今後の幼稚園の在り方についてどのような方向性になるのか、総合的な判断を可及的速やかに示す必要がある。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 411-01-03

事務事業名		幼稚園まつり開催事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		こども課		連絡先		内線1230	
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	子育て支援		款	10	教育費
	施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援		項	4	幼稚園費
					目	1	幼稚園費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	羽曳野市立幼稚園の園児及び保護者					
	目的 (どうしたいか)	豊かな心を育むとともに幼稚園教育への理解を深める。					
	手段 (事業内容)	市立幼稚園12園の全園児が羽曳野コロセアムのメインアリーナに集い、発表会と交流を行う。日頃の各園での活動を大きな場で発することにより、子どもの精神的な成長につなげる。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】  【特定財源】	
当初予算額	事業費	545	542	0		
決算額	事業費	505	0	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	開催回数	単位	回	
指標の説明	コロセアムで開催した回数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	1	-	0	
実績	1	0	-	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	園児数及び保護者の参加数	単位	人	
指標の説明	園児の健やかなる成長につながっている。			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	-	-	0	
実績	910	0	-	

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	見直す必要がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きくない。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献度が低い。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	<b>休止・廃止</b>
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
幼稚園まつりは開催に向けての練習に時間を割くことにより、各園の特性を活かした保育が充実しなくなるため、令和2年度をもって事業を廃止する。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 411-02-01

事務事業名		公立保育所運営事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		こども課		連絡先		内線1230	
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	子育て支援		款	3	民生費
	施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援		項	2	児童福祉費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者の労働や疾病等に伴い保育を必要とする児童					
	目的 (どうしたいか)	安全で快適な保育を提供し、楽しいことがいっぱい幼児期を過ごすことができる環境づくりを推進する。					
	手段 (事業内容)	公立保育所5園を適正に運営し、保育を実施する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 保育所費合計109,597千円から公立保育所施設整備費5,342千円、新型コロナウイルス感染症対策の備品及び消耗品購入費10,500千円を除く	
当初予算額	事業費	110,579	109,518	111,078		
決算額	事業費	95,869	93,755	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	公立保育所等への入所申込者数	単位	人	
指標の説明	公立保育所を第1希望とする人数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		160	130	120
実績		126	103	-

【特定財源】
--------

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	公立保育園数	単位	園	
指標の説明	市内5園を適正に運営する。			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		5	5	5
実績		5	5	-

≪事業の参考数値等≫
【事業費】 R3当初予算事業費 保育所費合計119,178千円から公立保育所施設整備費5,600千円、新型コロナウイルス感染症対策の備品及び消耗品購入費2,500千円を除く
【特定財源】

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 施設の耐震性・老朽化や、待機児童など、解決すべき課題に対して、引き続き検討を続けていく。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 411-02-02

事務事業名		公立保育所施設整備事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		こども課		連絡先		内線1230	
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	子育て支援		款	3	民生費
	施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援		項	2	児童福祉費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市内公立保育園					
	目的 (どうしたいか)	安全な保育環境を確保する。					
	手段 (事業内容)	老朽化している園舎の修繕や、待機児童の解消のための施設改修等を行う。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 修繕費:5,312千円 原材料費:30千円  【特定財源】	
当初予算額	事業費	6,243	4,600	5,600		
決算額	事業費	7,034	5,342	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	市立保育園5園修繕相談箇所数	単位	箇所	
指標の説明	各園修繕が必要な箇所について相談があった。			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		120	130	120
実績		130	115	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	市立保育園5園修繕対応箇所数	単位	箇所	
指標の説明	予算の範囲内において、最低限必要な箇所を修繕した。			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		120	130	120
実績		101	105	-

≪事業の参考数値等≫	
R3当初予算事業費	修繕費:5,500千円 原材料費:100千円

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
市立保育園5園のうち、1園が耐震基準を満たしていない状況である。他園についても園舎が老朽化しているため年々修繕箇所が増えているが、確保できた予算を最大限に活用し、施設の維持に努めている。将来的に、大規模な修繕または建て替えが必要となると思われるが、公共施設全体の更新についての計画に基づき検討していく。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 411-02-03

事務事業名		民間保育所運営事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		こども課		連絡先		内線1236	
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	子育て支援		款	3	民生費
	施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援		項	2	児童福祉費
					目	2	民間保育所費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者の労働や疾病等に伴い保育を必要とする児童					
	目的 (どうしたいか)	必要な保育を安全かつ安定的に提供する。					
	手段 (事業内容)	民間保育施設等において保育需要に対応する他、利用する児童の処遇改善等を目的とした単独補助事業を実施する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	<b>【事業費】</b> 児童福祉施設委託料1,589,785千円 民間保育所運営費補助金155,800千円  <b>【特定財源】</b> 利用者負担金(調定額)20,226千円 国庫負担金749,108千円 府費負担金317,866千円	
当初予算額	事業費	1,577,886	1,746,834	1,864,128		
決算額	事業費	1,602,209	1,745,585	-		
	特定財源等	1,002,363	1,087,200	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	民間保育所運営補助件数	単位	件	
指標の説明				
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		9	10	10
実績		10	10	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	適正な運営を行った民間保育所数	単位	園	
指標の説明				
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		9	10	10
実績		10	10	-

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
本事業のうち、民間保育施設への児童福祉施設委託料は、子ども・子育て支援新制度の施行の後、年々改善、増加している状況であり、市単独補助事業についても大幅な変動がないため今後も安定的な保育所運営のため事業を実施していく。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 411-02-04

事務事業名		民間保育所施設整備事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		こども課		連絡先		内線1230	
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	子育て支援		款	3	民生費
	施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援		項	2	児童福祉費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市内民間保育園の施設整備					
	目的 (どうしたいか)	年々増加している保育需要に応えるため、社会福祉法人等が設置する施設の定員数を増やし受入増を図る。					
	手段 (事業内容)	社会福祉法人等が設置する施設に係る整備事業に対し、市が行う補助事業を実施する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	事業費]安心こども基金事業費補助金 59,855千円(郡戸保育園)	
当初予算額	事業費	214,638	58,399	0	【特定財源】	
決算額	事業費	163,519	59,855	-	府補助:安心こども基金補助金53,204千円	
	特定財源等	145,350	53,204	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	民間保育園施設整備完了件数	単位	件	
指標の説明	民間保育園施設整備完了件数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	0	1	0	
実績	1	1	-	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	定員の増加	単位	人	
指標の説明	整備をすることにより増加した定員数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	0	15	0	
実績	0	15	-	

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
就学前の児童数が減少するなか、保育園の需要については今後も見込まれることから、長年にわたる安全な保育環境を確保するため施設整備が必要となる。保育園の今後の方向性を踏まえ、国の交付金等を活用して事業を実施していくことが必要である。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 411-03-01

事務事業名		幼保一元化推進事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		こども課		連絡先		内線1230	
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	子育て支援		款	3	民生費
	施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援		項	2	児童福祉費
					目	10	こども園費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	就学前児童					
	目的 (どうしたいか)	多様化する子育て支援ニーズに対応するため、就学前児童の教育・保育を一体的・総合的に推進するため、幼稚園・保育所・認定こども園が連携してお互いの情報・識見の共有と相互理解を深める。					
	手段 (事業内容)	公立の幼保連携型認定こども園において、今後共通としていくカリキュラムの作成を通して幼稚園教諭・保育士の交流を図り、研修機会を充実させ、職員の質の向上に努める。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	<b>【事業費】</b> 幼稚園教諭免許・保育士資格取得講習等 0円 幼保共通カリキュラム作成委員研修会講師謝礼 30,000円  <b>【特定財源】</b>  ≪事業の参考数値等≫	
当初予算額	事業費	2,476	607	631		
決算額	事業費	1,581	0	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	職員研修の回数	単位	回	
指標の説明	幼保共通カリキュラム作成委員研修の実施回数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	3	1	1	
実績	1	1	-	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	職員研修の回数	単位	回	
指標の説明	幼保共通カリキュラム作成委員研修の実施回数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	3	1	1	
実績	1	1	-	

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
幼稚園教諭及び保育士等の交流を図ることで、互いの教育観・保育観の違いをすり合わせるとともに、就学前の子どもにとって最善の過ごし方について検討を重ねていく。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 411-03-04

事務事業名		民間こども園施設整備支援事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		こども課		連絡先		内線1230	
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	子育て支援		款	3	民生費
	施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援		項	2	児童福祉費
					目	2	民間保育所費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市内民間幼保連携認定こども園の施設整備					
	目的 (どうしたいか)	年々増加している教育・保育需要に応えるため、社会福祉法人等が設置する施設の定員数を増やし受入増を図る。					
	手段 (事業内容)	社会福祉法人等が設置する施設に係る整備事業に対し、市が行う補助事業を実施する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】令和2年度高屋保育学園保育所等整備補助金227,352千円 認定こども園施設整備費補助金31,038千円 予算科目10.4.2 【特定財源】 国庫補助:保育所等整備交付金202,091千円 府補助金:認定こども園施設整備費補助金20,692千円	
当初予算額	事業費	0	253,889	0		
決算額	事業費	28,148	258,390	-		
	特定財源等	24,658	222,783	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	民間保育園施設整備完了件数	単位	件	
指標の説明	民間こども園施設整備完了件数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	0	1	0	
実績	2	1	-	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	定員の増加	単位	人	
指標の説明	整備をすることにより増加した定員数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	25	15	0	
実績	15	15	-	

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
就学前の児童数が減少するなか、認定こども園の需要については今後も見込まれることから、長年にわたる安全な保育環境を確保するため施設整備が必要となります。保育園及び認定こども園の今後の方向性を踏まえ、国の交付金等を活用して事業を実施していくことが必要である。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 411-03-05

事務事業名		公立認定こども園運営事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		こども課		連絡先		内線5570	
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	子育て支援		款	3	民生費
	施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援		項	2	児童福祉費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	3歳から5歳までの子どもとその保護者					
	目的 (どうしたいか)	就学前の子どもたちの成長発達に応じた教育・保育を一体的に行い、心と体、意欲や規範意識などを培い、たくましく生きる力の基礎を育成する。					
	手段 (事業内容)	1号認定児(幼稚園)と2号認定児(保育園)が共に学ぶ環境の中で、認定こども園教育・保育要領に沿った総合的な指導を行う。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 ・調理業務委託料:5,056千円 ・賄材料費:2,330千円	
当初予算額	事業費	17,835	14,054	14,404	【特定財源】 ・日本スポーツ振興センター負担金: 35千円	
決算額	事業費	12,766	10,438	-		
	特定財源等	75	71	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	公立認定こども園の職員配置人数	単位	人	
指標の説明	法令で定める基準にそれぞれ配置しており、教育・保育サービスを適正に提供する。			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		14	12	11
実績		14	15	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	公立認定こども園への入園申込者数	単位	人	
指標の説明	公立認定こども園を第1希望とする人数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		61	50	83
実績		52	53	-

≪事業の参考数値等≫  
クラス数と園児数(各年5月1日現在)  
R2:6クラス・143人  
R3:6クラス・140人

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 令和2年度のこども園を第一希望とする人数は、募集人数の約77%であった。今後も引き続き、より良い教育・保育サービスを適正に提供していく。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 411-03-06

事務事業名		公立認定こども園管理事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		こども課		連絡先		内線5570	
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	子育て支援		款	3	民生費
	施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援		項	2	児童福祉費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	公立認定こども園(こども未来館たかわし)					
	目的 (どうしたいか)	多様な子育てニーズに対応する、園の円滑な運営に資するため。					
	手段 (事業内容)	施設の維持に必要なとなる様々な日常管理を実施する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 認定こども園施設管理費:3,600千円	
当初予算額	事業費	4,013	4,064	3,937	【特定財源】	
決算額	事業費	3,805	3,600	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	市立こども園数	単位	園	
指標の説明	市立こども園を適正に管理する。			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	1	1	1	
実績	1	1	-	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	市立こども園数	単位	園	
指標の説明	適正に管理できた園の数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	1	1	1	
実績	1	1	-	

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
<p>認定こども園の円滑な運営は必要不可欠な業務である。                  利用者が安全に利用できるように修繕等日常のメンテナンスを必要に応じ実施し、適正な維持管理に努める。                  今後も備品や消耗品等の購入に関しては、使用目的や優先順位など計画的に算出していくよう努める。</p>	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 411-03-09

事務事業名		はびきのE-Kids!事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		こども課		連絡先		内線1230	
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	子育て支援		款	10	総務費
	施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援		項	4	総務管理費
					目	1	企画費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市立幼稚園および市立こども園に在園する4歳児及び5歳児					
	目的 (どうしたいか)	幼児期において、英語を楽しみながら体験することで、自然に無理なく英語を学びながら、ネイティブな発音や外国文化に触れられる機会を提供し、英語力やグローバルな視野の基礎づくりに寄与する。					
	手段 (事業内容)	園の課内授業として、外国人講師による英会話の体験教室を実施する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 英会話教室運営支援業務委託料 583千円  【特定財源】	
当初予算額	事業費	864	814	1,388		
決算額	事業費	721	583	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	開催コマ数	単位	コマ	
指標の説明		各園にて実施した教室のコマ数		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		125	123	129
実績		121	96	-

≪事業の参考数値等≫

【実施園数】	令和元年度 13園
	令和2年度 13園

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	参加園児数(のべ人数)	単位	人	
指標の説明		外国人との交流を通じて英会話を体験した回数(人数)		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		2,446	2,200	2,000
実績		1,952	1,614	-

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きくない。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
市内認定こども園および幼稚園において、外国人講師と歌やゲームを通じて英語を学ぶ機会を提供することで、園児が楽しみながら、自然な英語を習得することを可能としている。園児や保護者からは好評を得ており、一定のニーズには応えられている。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 411-03-10

事務事業名		未就学児の教育保育施設長寿命化計画策定事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線1230	
担当部署名		こども課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち		款	3	民生費
	施策	1	子育て支援		項	2	児童福祉費
	施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援		目	1	児童福祉総務費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	本市の市立子育て支援施設(幼稚園、保育園、認定こども園、子育て支援センター)					
	目的 (どうしたいか)	老朽化している本市の子育て支援施設について、年少人口の減少動向を踏まえ、適正な規模配置を維持し、良好な教育保育環境を将来にわたって持続的に確保する必要がある。					
	手段 (事業内容)	子育て支援施設長寿命化計画を策定する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	<b>【事業費】</b> 教育・保育施設長寿命化計画策定業務委託料 8,317千円  <b>【特定財源】</b>	
当初予算額	事業費	—	13,173	0		
決算額	事業費	—	8,317	—		
	特定財源等	—	0	—		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	調査の施設数	単位	箇所	
指標の説明	本市の市立子育て支援施設(幼稚園、保育園、認定こども園、子育て支援センター)			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	—	19	0	
実績	—	19	—	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	施設毎の評価	単位	箇所	
指標の説明	施設の健全度(劣化)度調査を実施			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	—	19	0	
実績	—	19	—	

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	完了
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
各教育保育施設の健全度(劣化)調査の実態を踏まえ、教育保育施設に求められる機能を確保しながら、中長期的な維持管理・更新等に係るライフサイクルコストの削減や予算の平準化を図るための方針を定めた。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

# 令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 411-05-02

事務事業名		こども夢プラン進行管理事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		こども課		連絡先		内線1234	
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	子育て支援		款	3	民生費
	施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援		項	2	児童福祉費
					目	1	児童福祉総務費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民					
	目的 (どうしたいか)	羽曳野市子ども・子育て支援事業計画、羽曳野市次世代育成支援行動計画、羽曳野市母子保健計画(はびきのこども夢プラン)の着実な推進。					
	手段 (事業内容)	本計画を実行性のあるものとして着実に展開していくため、年度ごとに関係各課の施策や事業の実施状況を把握するとともに、庁内連携強化に努める。また、羽曳野市こども夢プラン推進委員会に施策や事業の進捗状況を報告したうえで、市のウェブサイト等を通じて市民に公表する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 こども夢プラン推進委員会委員報酬  【特定財源】	
当初予算額	事業費	4,100	294	295		
決算額	事業費	548	131	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	こども夢プラン推進委員会開催回数	単位	回	
指標の説明	こども夢プラン推進委員会開催の回数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	5	2	1	
実績	4	1	-	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	国が定める特定13事業達成度	単位	事業	
指標の説明	国が定める特定13事業の達成度			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	11	12	12	
実績	12	12	-	

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
子ども・子育て支援事業計画並びに次世代育成支援行動計画で定めた「教育・保育及び子育て支援事業」の量の見込みや確保方策をはじめ、各施策や事業等について、毎年進捗管理や評価、課題整理を行い、本計画を実行性のあるものとして着実に展開していく。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
令和4年度中間見直しを予定していることから、目標の達成状況や、進捗状況を確認し、事業の見直しを行うとともに、施設の確保量の検討等に取り組む予定。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 412-02-02

事務事業名		一時預かり事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		こども課		連絡先		内線1231	
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	子育て支援		款	3	民生費
	施策の方向	2	子育て家庭への支援		項	2	児童福祉費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	突発的な要因の他、育児等に伴う心理的・肉体的負担等を抱える保護者					
	目的 (どうしたいか)	保護者の継続的・短時間就労などや、専業主婦家庭などの育児疲れ、急病や入院などにもなう心理的・肉体的負担を解消するために実施する。					
	手段 (事業内容)	市内の民間保育所3園、公立こども園1園、公立幼稚園1園、他市の民間認定こども園1園の計6園で本事業を実施し、保護者の負担軽減に努める。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】	
当初予算額	事業費	15,430	16,149	16,641	一時預かり事業補助金12,608千円	
決算額	事業費	12,895	12,608	-	【特定財源】	
	特定財源等	10,552	0	-	子ども・子育て支援交付金(国1/3、府1/3)	
					国庫負担金5,168千円	
					府費負担金5,168千円	

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	一時預かり事業実施施設数	単位	箇所	
指標の説明	一時預かり事業実施施設数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	5	6	6	
実績	6	6	-	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	一時預かり事業利用者数	単位	人	
指標の説明	一時預かり事業利用者数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	9,000	20,000	9,000	
実績	19,954	8,310	-	

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
羽曳野市における保育所待機児童対策と併せて、家で保育されている母親の育児支援として活用できる事業であり、様々な家庭への保育サービスとして今後も継続していく必要がある。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
今後のニーズを確認しながら実施園の増加も検討する。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 412-02-03

事務事業名		延長保育事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線1231	
担当部署名		こども課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち		款	3	民生費
	施策	1	子育て支援		項	2	児童福祉費
	施策の方向	2	子育て家庭への支援		目	2	民間保育所費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	保育を必要とする保護者					
	目的 (どうしたいか)	保護者の就労形態の多様化などにもない保育時間の園長に対するニーズに対応できるよう民間保育施設において、保育認定を受けた時間外に保育が必要となった場合に対応する。					
	手段 (事業内容)	民間保育施設に対し、事業実施に必要な費用として、補助金を交付する。(国府負担あり)					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	<b>【事業費】</b> 延長保育事業補助金4,200千円  <b>【特定財源】</b> 子ども・子育て支援交付金 国庫負担金1,400千円 府費負担金1,400千円	
当初予算額	事業費	3,600	5,696	6,296		
決算額	事業費	3,900	4,200	-		
	特定財源等	2,600	2,800	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	延長保育を実施する民間保育施設	単位	園	
指標の説明	延長保育を実施した施設数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	9	9	10	
実績	9	10	-	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	補助金を交付した民間保育施設	単位	園	
指標の説明	事業実施に伴う補助金交付施設数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	9	9	10	
実績	9	10	-	

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
延長保育事業については、人件費相当分の費用が国が定める児童一人当たりの保育費用である公定価格に含まれるようになり、全国的に統一的な取扱いがなされていることから、必要性や需要も高い事業であり、今後も実施内容に検討を重ねながら継続実施する。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 412-02-04

事務事業名		病後児保育事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線1231	
担当部署名		こども課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち		款	3	民生費
	施策	1	子育て支援		項	2	児童福祉費
	施策の方向	2	子育て家庭への支援		目	8	子育て支援費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	病気の回復期等であることから集団保育が困難な児童					
	目的 (どうしたいか)	病気回復期にある入院治療の必要のない児童が、保護者の就労や傷病、事故などの理由により家庭での養育が一時的に困難になった場合、児童を一時的に保育する。					
	手段 (事業内容)	事業実施団体に運営費補助金を交付する。(国府負担あり)					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 病後児保育事業補助金9,371千円  【特定財源】 子ども・子育て支援交付金 国庫負担金 3,123千円 府費負担金 3,123千円	
当初予算額	事業費	9,373	9,493	9,493		
決算額	事業費	9,386	9,371	-		
	特定財源等	6,244	6,246	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	事業実施施設数	単位	箇所	
指標の説明	0			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	1	1	1	
実績	1	1	-	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	利用児童数	単位	人	
指標の説明	0			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	500	500	500	
実績	489	120	-	

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
市内の保育ニーズの増加に伴い、病後児保育の需要も高まっている状況であり、実施箇所数の増加も検討をしながら、継続実施していく。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 413-01-04

事務事業名		家庭支援推進保育所事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		こども課		連絡先		内線1231	
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	子育て支援		款	3	民生費
	施策の方向	3	地域ぐるみの子育て支援の充実		項	2	児童福祉費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	民間保育園					
	目的 (どうしたいか)	家庭環境に支援を要する保育所入所児童及びその家庭に対する支援や、在宅での子育て家庭への支援として、家庭訪問、出前保育、育児相談などを実施。					
	手段 (事業内容)	家庭訪問・出前育児相談等を行う保育園に対し、補助金を交付する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 家庭支援推進保育所事業補助金 4,500千円	
当初予算額	事業費	4,500	4,500	4,500	【特定財源】 令和2年度新子育て支援交付金 4,500千円	
決算額	事業費	4,500	4,500	-		
	特定財源等	8,481	4,500	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	事業実施施設数	単位	箇所	
指標の説明				
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	1	1	1	
実績	1	1	-	

≪事業の参考数値等≫

【家庭訪問数】	H29 288件
	H30 236件
	R元 224件
	R2 209件

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	家庭訪問数	単位	件	
指標の説明				
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	250	250	250	
実績	224	209	-	

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きくない。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
子育て家庭の核家族化や共働きの増加等により地域との関わりが少なくなってきた社会情勢において、配慮の必要な家庭への支援や早期発見のため重要な事業と位置付けており、今後も継続実施が必要である。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)